

12月16日セミナー

# 2024年ビットコイン見通し～いよいよ半減期～

Dec 16, 2023

松田 康生

楽天ウォレット株式会社

**Rakuten Wallet**

# BTC相場の決定要因

需給で決まる～市場とは価格を調節して需要と供給の数を合わせる仕組み

## BTC相場の特徴→供給が一定

- BTCの新規発行はマイニング報酬（現在10分毎に6.25BTC 1日900BTC）
- 11月16日時点の総発行量は19,544,625 BTC
- 上限は2100万BTC

## 半減期 4年に一度 供給が半分に

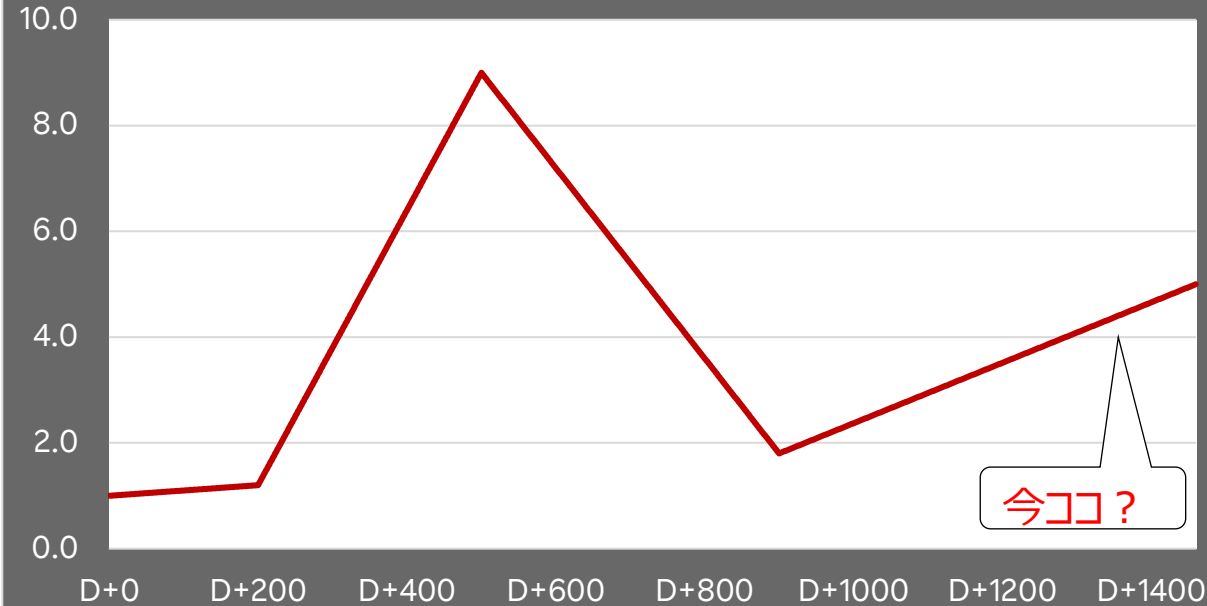
- 1ブロック辺りの報酬

2009年1月3日 : 50BTC → 2012年11月28日 : 25BTC → 2016年7月9日 : 12.5BTC →  
2020年5月11日 : 6.25BTC → 2024年4月28日頃 : 3.125BTC

## 相場は4年サイクル

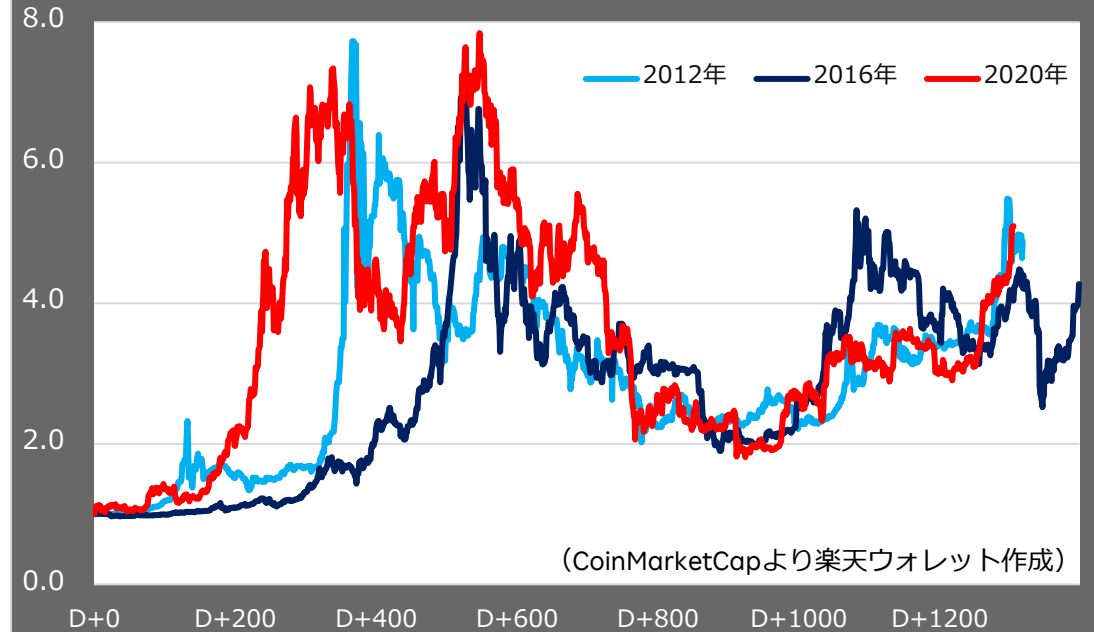
# 半減期毎のサイクル

## BTC半減期毎の価格イメージ



- 半減期から半年から1年はマイナーの採算が悪化し低迷
- 半減期から1年から1年半後、供給減が効きピークをつける
- その後失速、半減期から2年～2年半後にボトムを付ける
- ボトムから次の半減期まではじりじり上昇 (≒今ココ?)

## 各半減期 (D+0) を1としたBTC相場推移 (スケール調整)



(CoinMarketCapより楽天ウォレット作成)

## スケール調整

ピークを合わせるため、2016年は2020年の1/4.3 2012年は2020年の1/13.5スケールダウン

(実数では2012年は半減期から90倍になっている)

総発行数に対する半減期による供給減の割合は半減期を経る毎に約1/3に減っている影響が出ていると思われる。

# 次回ピークの見え方

(CoinMarketCapより楽天ウォレット作成/**赤字は予想**)

半減期		ピーク				ボトム			
日付	価格	日付	価格	半減期からの日数	半減期対比	日付	価格	半減期からの日数	下落率
2012/11/28	12.4	2013/11/29	1,137	366	91倍	2015/1/14	183	777	84%
2016/7/9	650	2017/12/17	19,042	526	29倍	2018/12/14	3,157	888	83%
2020/5/11	8,825	2021/11/9	67,734	547	7.7倍	2022/11/9	15,731	913	77%
<b>2024/3-4</b>	<b>40,000-50,000</b>	<b>2025/5-10</b>	<b>100,000-150,000</b>	<b>365-550</b>	<b>2.5-3倍</b>	<b>2026/5-10</b>	<b>20,000-36,000</b>	<b>750-600?</b>	<b>70-80%</b>

- 前2回のボトムから半減期にかけて2.8-3.5倍に上昇（半減期前は期待感なので上昇率はあまり変わらない）
- 次回半減期（2024年4月）の予想水準は40,000～50,000ドル
- 半減期からピークまでは90倍→29倍→7.7倍と約1/3に（総発行量に対する発行減の影響が減る）
- 次回ピークは2025年5-10月に100,000～150,000ドル

## 今後の予想

**2024年4月頃（半減期） 550-700万円 4-5万ドル @140円**

**2025年ピーク（5-10月） 400-2100万円 10-15万ドル @140円**

⇒以上はあくまで供給サイドの要因による価格予想

# BTC相場の決定要因

供給面：4年毎の半減期で供給が半分に

**需要面：**

①利上げ打ち止め・利下げ観測

②現物ETF承認期待

# なぜ利上げ打ち止め・利下げ観測でBTC買いなのか？

## 法定通貨に対する代替投資だから

- コロナ対策の史上最大の財政支出と金融緩和に不安を覚えた米投資家が、2020年4月以降インフレヘッジとしてBTCをポートフォリオに数%組み入れ始めた。
- ジョンロックへの回帰→増刷を続ける法定通貨のアンチテーゼ。
- 2021年11月の金融政策の正常化で相場は反転。
- 金融引締め終了・緩和へのシフトで反発

# FRBの金融政策とBTC

(TradingViewより楽天ウォレット作成)



- 3度目の正直で利上げ打ち止め観測
- タカ派のウォラー理事のハト派発言で来年3月利下げ観測高まる



# 最後の利上げから最初の利下げまで平均9か月

1990年以降の米FF金利と最後の利上げから最初の利下げまでの日数



(出典：Bloombergより楽天ウォレット作成)

## なぜETFが承認されるとBTC買いなのか

### 機関投資家（保険・投信・年金）が買えるようになるから

- 個人中心に発展したBTC市場に法人マネーが流入したら大化けすると言われた
- 2020年から2021年にかけてヘッジファンドなどの資金が流入、前回バブルに
- 大勢からお金を預かって運用する金融機関にとってはBTCの保管方法が問題
- 2004年のETF登場で金価格は大きく上昇した

⇒早ければ来年1月、遅くとも3月までに承認されるとの見方が有力

# ETFが承認された後はSell the Fact

- ETFはBTCを買いやすくするが買う理由ではない
- 相手はプロの投資家、買うとしても引き付ける
- ETF承認期待で上がった分は、ローンチ後に手仕舞い売りが出る
- 次回ブームが来た時の起爆剤にはなり得る

## 金ETFの場合



TradingView

(出典 : Trading Viewより楽天ウォレット作成)



## 先物ETFの場合



TradingView

(出典 : Trading Viewより楽天ウォレット作成)

# 足元の上昇について



TradingView

(出典：Trading Viewより楽天ウォレット作成)



TradingView

(出典：Trading Viewより楽天ウォレット作成)

- 今回の急騰の背景は半減期による上昇を先取りした買い圧力
- しかし供給減で本格的に上昇するのは半減期後
- 半減期前の上昇はピークの67-70%程度まで
- 今回のサイクルのピークが69,000ドル
- 上値の目途は46,000-48,000ドル程度か

## ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようようお願いいたします。

# Disclaimer

※この資料では、投資判断の参考のための情報提供を行っておりますが、銘柄推奨や投資活動の勧誘を目的としておりません。また、楽天ウォレットとしても投資勧誘や断定的な予測をおこなうものではありません。

※情報に将来の予想が含まれることがありますが、筆者個人の見解であり、またその正確性、信頼性を保証するものではありません。投資の最終判断は、ご自身で行っていただきませうようお願い致します。

暗号資産の取引を行う際には、以下の注意点にご留意ください。

## 《暗号資産を利用する際の注意点》

- 暗号資産は、日本円やドルなどのように国がその価値を保証している「法定通貨」ではありません。インターネット上でやりとりされる電子データです。
- 暗号資産は、価格が変動することがあります。暗号資産の価格が急落したり、突然無価値になってしまうなど、損をする可能性があります。
- 暗号資産交換業者は金融庁・財務局への登録が必要です。利用する際は登録を受けた事業者か確認してください。
- 暗号資産の取引を行う場合、事業者から説明を受け、取引内容をよく理解し、ご自身の判断で行ってください。
- 暗号資産や詐欺的なコインに関する相談が増えています。暗号資産を利用したり、暗号資産交換業の導入に便乗したりする詐欺や悪質商法に御注意ください。

## 《暗号資産関連取引の注意事項》

- 暗号資産関連取引は、暗号資産の価格の変動により、損失が生じる可能性があります。また、証拠金取引は、預託した証拠金額を上回る取引ができるため、多額の利益を得ることが期待できる一方、多額の損失を被る可能性があります。さらに、その損失の額は、預託した証拠金の額を上回る可能性があります。
- 証拠金取引に必要な証拠金額やその計算方法、証拠金率その他証拠金の詳細は、弊社ホームページをご確認ください。
- 取引にあたり手数料が発生することがあります。手数料の詳細については、弊社ホームページをご確認ください。
- 当社の提示価格には、売付（Bid）価格と買付（Ask）との差（スプレッド）があります。暗号資産の価格の急変や流動性の低下等により、スプレッド幅が拡大したり、注文受付を停止したりする可能性があります。また、スリッページ又はロスカットの執行等により、お客様の意図した取引が行えない又は意図しない取引が成立する可能性があります。
- 暗号資産は代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済のために使用することができます。
- 上記は、暗号資産関連取引の典型的なリスクを示したものです。取引に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、取引の仕組み、リスクについて十分にご理解のうえ、お客様ご自身の責任において行ってください。

楽天ウォレット株式会社

暗号資産交換業者 登録番号：関東財務局長 第00015号

金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第3190号

加入協会 一般社団法人日本暗号資産取引業協会